



浅間山の近くの山である。私が持っている 1980 年代の浅間山の登山案内書の地図には点線さえ書いていない。マイナーな山もいいところであろうと思っていた。しかし行ってみたら良く整備された極めて登りやすい山であった。ヤナギランがたくさんあるところが特徴であり、そのほかは樹林帯の山であるので景色もあまり望めない。毎日新聞旅行の靴マークは 1 であり歩行 2 時間半ではツアー成立も難しいのではないかと考えていたが満員であった。男が 6 名、女はその 3 倍近く。やはりいつものメンバーに比べると危なっかしい人が多かった。腰もまっすぐに伸びないようなジイサマもいたし、口数は多いが歩き始めてすぐに息をハーハーさせていたバアサマもいた。

ツアーリーダーは 3 年前に鋤崎山でお世話になった小林のジイサマ、アシスタントはこの間も会津朝日岳でお世話になった上野のバアサマ。息子と娘が大学生であると言っていたが、若いころから花岡さんや増田さんと同じ山岳会で鳴らした経歴を持つらしい。

棧敷山は 1915m の山であるが、1600m くらいまで車で行ってしまいうので 1 時間も歩けば頂上へ着いてしまう。天気予報は雨であったが、幸い曇り空で青空もところどころ見られる条件であったので、暑くもなく最高の条件であった。普段通っているスポーツジムの時速 6 km の 1 時間の歩行のほうがよほど汗をかく。上野さんが、“高橋さんが来るような

山ではないですねえ”と言っていたが、7月初めの会津朝日岳と8月中旬の北アルプス裏銀座の間が空きすぎたので来たのである。こちらにもいろいろ事情があるんだよ。

